

所属	福祉マネジメント研究科	職名	教授	氏名	鶴岡 浩樹	大学院の授業担当の有無	(有・無)
授業科目							
社会福祉学部	医学一般、健康福祉増進論(2013-2016)、医療的ケア演習						
専門職大学院	人のからだと疾病、実践研究方法論、実践の省察と評価、在宅療養支援、職場のメンタルヘルス、インタープロフェッショナルワーク(IPW)、福祉人材育成論、事例研究(高齢者支援分野)、専門演習						
大学院博士前期	社会福祉学研究実習						
大学院博士後期	社会福祉学研究実習、高齢者保健福祉研究						
通信教育科	医学一般						
教育活動							
教育実践上の主な業績		年月日	概要				
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)							
2 作成した教科書、教材、参考書							
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 臨床実習前IPL(多職種交流授業)の企画		2017.4.22	第64回医学教育セミナーとワークショップ(昭和大学)にて小原真知子教授と共に本学と清瀬IPEの取組を紹介				
4 その他教育活動上特記すべき事項 三大学連携 特別講義		2017.6.13	「地域包括ケアにおける多職種連携の重要性」について講義。明治薬科大学にて。				
研究活動							
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数		
< 著書・編著書 >							
< 研究論文・研究ノート >							
< 調査・研究報告書 >							
認知症高齢者の長期療養を専門職連携実践で支える研修プログラムの開発	共著	2017.3	宮城大学看護学群	大塚真理子	149-65、166-7		
< 翻訳 >							
< その他の執筆活動 >							
学会等および社会における主な活動							
< 学会報告 >							
2017.5.27	菊地悦子、辻玲子、大塚真理子、田中敦子、丸山優、須賀夏子、國澤尚子、木戸宜子、鶴岡浩樹、急性期医療を担う地域中核病院における認知症高齢者の長期療養を支える多職種連携、第18回日本認知症ケア学会大会(石崎賞受賞)						
2017.5.27	丸山優、田中敦子、須賀夏子、畔上光代、辻玲子、菊地悦子、國澤尚子、木戸宜子、鶴岡浩樹、大塚真理子、開放型病床における認知症高齢者のより良い退院を実現させるケア環境 看護師へのグループインタビュー調査から 第18回日本認知症ケア学会大会						
2017.5.27	田中敦子、丸山優、須賀夏子、畔上光代、辻玲子、菊地悦子、國澤尚子、木戸宜子、鶴岡浩樹、大塚真理子、開放型病床における認知症高齢者の退院支援の構造 グループインタビューによる質的分析 第18回日本認知症ケア学会大会						
2017.6.16	田中敦子、丸山優、須賀夏子、畔上光代、辻玲子、菊地悦子、國澤尚子、木戸宜子、鶴岡浩樹、大塚真理子、一般急性病院の解放型病床における認知症高齢者の退院支援、日本老年看護学会第22回学術集会						
2017.6.16	丸山優、田中敦子、須賀夏子、畔上光代、辻玲子、菊地悦子、國澤尚子、木戸宜子、鶴岡浩樹、大塚真理子、一般急性病院で認知症高齢者を支えるケアの検討。日本老年看護学会 第22回学術集会						
2017.8.22	Iwao Sonoda, Shinya Hayasaka, Yukari Ido, Koki Tsuruoka, Satoshi Watanabe, Taichi Ishizawa, Mitsuo Tsunakawa, Shingo Yano. Comparison of children's bathing habits and differences in who bathes with the child in Japan. The 21st World Congress of Epidemiology						
2017.9.9	木戸宜子、鶴岡浩樹、畔上光代、丸山優、須賀夏子、辻玲子、菊地悦子、田中敦子、國澤尚子、大塚真理子、地域における認知症高齢者の長期療養を支えるIPWに向けた取り組みと課題 介護支援専門員がサービス担当者会議で取り上げる課題から。第10回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会						
2017.9.9	鶴岡浩樹、木戸宜子、菊地悦子、畔上光代、國澤尚子、須賀夏子、丸山優、辻玲子、田中敦子、大塚真理子、模擬カンファレンスを利用した専門職連携教育の動画教材の開発 認知症高齢者の退院前カンファレンスを例に。第10回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会						

2017.9.9	國澤尚子、鶴岡浩樹、菊地悦子、木戸宜子、畔上光代、須賀夏子、丸山優、辻玲子、田中敦子、大塚真理子、認知症高齢者の退院前模擬カンファレンス動画教材のファシリテータ研修への活用 . 第10回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会
< 講演活動 >	
2017.5.30	鶴岡浩樹、認知症最前線、清瀬市健康大学 第1回講演会、アミューホール(清瀬)
2017.6.28	鶴岡浩樹、地域包括ケアシステムの構築に向けて～多職種の連携とは～、真岡市在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク連絡会いちご一会発足式、真岡市民会館小ホール
2017.11.15	鶴岡浩樹、在宅における医療・福祉・介護の連携と多職種連携の実際、第2回済生会地域包括ケア連携土養成研修会、済生会本部(東京)
2017.12.1	鶴岡浩樹、在宅医療・介護連携の基本視点、立川市介護支援専門員研修会、立川市総合福祉センター
2017.12.21	鶴岡浩樹、住み慣れた町で最期まで暮らすために～在宅医療の実際～、平成29年度独立行政法人都市再生機構ウェルフェア応用研修、独立行政法人都市再生機構本社(横浜)
2018.2.8	鶴岡浩樹、地域包括ケア推進に向けた医療と福祉のこれから、関東甲信越静岡ブロック社会福祉法人経営青年会研修会、ホテルマイステイズ宇都宮(栃木)
< 所属学会 >	
日本プライマリ・ケア連合学会	代議員(2012-2014)、専門医認定委員(2010-現在、当初は認定制度委員という名称) 毎年7月に専門医試験の企画、実施、SP(模擬患者)招集と演技指導、試験評価を担当している。
< 社会的活動 >	
2011.6～現在	「つるカフェ」と称し、栃木県下野市で多職種連携のための勉強会を実施。2017年度は第32回から第41回まで10回開催。
2015～	新宿区地域保健医療体制整備協議会 委員
2015～	新宿区在宅療養専門部会 会長
2015～	立川市在宅医療介護連携推進協議会 副会長
2016～	東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会 会長
2017～	社会福祉士国家試験 試験委員会 副委員長
2017～	全国社会福祉協議会発行 『月刊福祉』 編集委員
2017.8.26	第5回つるカフェ市民講座開催。「防災からとりくむ地域包括ケア、～おのおの抜かりなく～
2018.1	大木トオル、鶴岡浩樹(聞き手)、ウォッチング2018:愛犬と音楽に救われた人生、月刊福祉 2018年1月号 46-51